

Title	中国から学術図書の寄贈を受ける
Author(s)	
Citation	静脩 (1988), 24(3): 14-14
Issue Date	1988-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/36993
Right	
Type	Article
Textversion	publisher

のと、ラテン・アメリカ、チェコ・スロヴァキア、ブルガリア、ルーマニアやアジアに関するパンフレットを収録したものです。

請求記号は YP21 I1 で、B2 階中間ブロック東側、新分類洋書が排架されている場所にあります。

Alfabetische catalogus van de boeken en brochures van het Internationaal Instituut voor Sociale Geschiedenis. Amsterdam.

Boston [Mass], G. K. Hall & Co. 1975-1979.

- 1) Mayer, Paul: Die Geschichte des sozialdemokratischen Parteiarchivs und das Schicksal des Marx-Engels-Nachlasses, *Archiv für Sozialgeschichte*.

(Hannover), Bd, VI/VII 1966/67 SS.5-198

佐藤金三郎「アムステルダムだより— IISG とマルクス・エンゲルス遺稿をめぐって」*思想*556(1970. 10)pp.125-141

- 2) Nettlau, Max: Michael Bakunin: eine Biographie 3Bde in 2. [1896-1898.] (Only 50 copies of this edition have been produced, all of which are numbered and signed.) Feltrinelli Fac-simile reprint 1971. この Reprint の元になった版は限定22部目の Jacque Meseil(?) に贈られのものである。(市販用限定20部中No.10のものが法学部図書室の所蔵である。)
- 3) Nicolaevsky, Boris I.: Power and Soviet elite; "the letter of an Old Bolshevik" and other essays. ed. by Janet D. Zagoria pp.3-25. 25p.

『権力とソヴィエト・エリート』中村平八・南塚信吾訳 みすず書房 1970. pp.19-41. p.36

「京都大学同和問題文献・資料コーナー —図書目録—1986」を刊行

本学では、教職員・学生が同和問題に必要な調査研究や学習等を積極的に行っていくため、昭和48年に同和問題委員会が発足、51年度からは同委員会に選書小委員会が設置され、関係図書・雑誌の選定、収集が行われてきました。

選定された資料は学内4キャンパス、すなわち附属図書館、農学部図書室、教養部図書館、医学図書館の資料コーナーに配架しています。

今回発行した目録には、昭和49年度～61年度までの13年間に受入れた図書：約800点、雑誌・新聞：20種を収録しています。

この目録は2年に1回累積版として発行し、全学の図書館(室)に配布してあります。この小冊子が少しでも利用者のお役に立ち、同和問題に対する自発的な調査研究や学習に資することが出来れば幸いです。

中国から学術図書の寄贈を受ける

このたび、附属図書館は中華人民共和国国家教育委員会(日本の文部省にあたる。)のご好意により、1000余冊の図書と逐次刊行物10種の寄贈を受けました。

〈内訳〉

図書(中国書)：経済学、文学、歴史、自然科学関係等：883冊

(洋書)：2冊

(参考図書)：129冊

逐次刊行物：10種

寄贈受入手続後、直ちに目録・分類等作業を行い、それぞれ二階開架閲覧室又は一階参考図書室に配架しておりますので、せいぜいご利用下さい。

第1回国立大学図書館協議会シンポジウム(西会場)開催される

国立大学図書館協議会は、昭和60、61年度に設置された調査研究班及び学術情報システム特別委員会での検討内容を現場の第一線で活躍している実務者(掛・係長)に周知、理解を深め、実現方策について方向性をみだすため、東西二会場でシンポジウムを持つこととし、西地区については本学図書館を会場として、32大学から34名の出席をえて、昨年10月22日(木)～23日(金)に開催した。

第1部：図書館業務のシステム化と目録システム

課題報告では学術情報システム特別委員会の設置、学術情報センターへの要望書提出までの経過の報告、図書館ネットワークの立場からのシステム化及び目録システム(OPAC)がハウスキューピングに優先すべきことが強調された。